

フォークアンドマージユーティリティ

フォークアンドマージユーティリティは Fork(分岐するなどの意)とMerge(併合するなどの意)から名前を付けており、「超」ファイリングシステムで蓄積したデータの一部を任意の条件で抽出し、別の「超」ファイリングシステムのデータベースに登録する為のツールです。「超」ファイリングシステム サポートサービスのユーティリティ提供サービスのメニューで提供されます。

The screenshot shows the 'フォークアンドマージユーティリティ' (Fork and Merge Utility) window. It is divided into several sections for configuring data migration and merging.

移動/複写元 (Move/Original Source):

- 管理情報フォルダ: C:\超sample (Annotation: 複写元(抽出したいデータが存在する)「超」ファイリングシステムの管理情報フォルダを設定いたします。)
- ドキュメントフォルダ: C:\超sample\image
- 検索抽出 (Annotation: キーワードや日付など、抽出条件を設定します。操作性は「超」ファイリングシステムと同じ。)
- データ件数: 3177
- 削除 (Annotation: 抽出結果を「ごみ箱」に入れるか、償却するかを選択できます。操作には、注意が必要です。)
- 総容量見積り (Annotation: 「総容量見積り」ボタン。抽出結果のトータルファイルサイズ(バイト)を計測します。)
- データサイズ:

移動/複写先 (Move/Destination):

- 管理情報フォルダ: (Annotation: データの移動先、複写先の「超」ファイリングシステムの管理情報フォルダを設定します。)
- ドキュメントフォルダ:

ログファイル:

- 設定... (Annotation: ログファイルの保存先を設定します。後にどのようなデータが転送されたのか確認できます。)

移動/複写先の同ドキュメントの処理方法 (Processing method for the same document in move/destination):

- ☒ 同ドキュメントが存在する否かの確認をする。
このとき、起源が同じドキュメントで、内容が異なっていた場合、
 - ☒ 日付を比較し、新しい方のみを登録する。
 - ☐ かまわず、新規ドキュメントとして登録する。
- ☐ 同ドキュメントが存在する否かの確認をしない。
(全く同一のドキュメントが存在しても、検索にマッチしたドキュメントは、無条件に新規登録する。)

Buttons:

- 移動 (Annotation: 「移動」ボタン。検索抽出条件に合致したデータを移動元から削除し、移動先に移動します。実行までに確認のダイアログが出て注意を促す仕組みになっていますがデータが削除されますので、十分な注意が必要です。)
- 複写 (Annotation: 「複写」ボタン。元のデータを複写元に残したまま検索抽出条件に合致したデータを複写先に複写(コピー)します。)
- 終了

Other Annotations:

- 所要時間が長くなります。 (Points to the '移動' button)
- 画像編集やブック文章等の更新時刻に差異がある場合。 (Points to the '同ドキュメントが存在する否かの確認をする' option)